



杉並区議会だより

【発行】杉並区議会 【編集】区議会広報委員会 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎3312-2111 FAX 5307-0695
<http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/> 【携帯サイト】<http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/mobile/>



2015年

今年もよろしく
 お願い申し上げます



杉並区議会議員一同



議場の議席にて撮影

新年のごあいさつ



杉並区議会議長
 斉藤 常男

あけましておめでとうございます。区民の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成27年の年頭にあたり、杉並区議会を代表して一言、ごあいさつを申し上げます。

昨年は、冬季オリンピックを始め、数多くの国際舞台における日本人選手の活躍に、国中が歓喜の渦に包まれた一方で、土砂災害や地震、噴火などの自然災害に生活が脅かされた年でもありました。

このような中、区においては交流自治体中学生親善野球大会や、杉並ナンバーの交付開始など、次世代の夢を育む支援事業や地域活性化政策を、また、東京都との合同防災訓練や、静岡県南伊豆町と全国初となる自治体間連携による特別養護老人ホームの実現などに取り組んでまいりました。また、区政を取り巻く社会経済情勢の変化に合わせ、杉並区基本構想の実現を具

体化する「杉並区総合計画」と「杉並区実行計画」の改定を行いました。

区議会としても、施設再編整備や保育需要、少子高齢化社会への対応、防災減災対策の充実など、区政の諸課題に対し、熟議を重ね、区政のチェック機能を着実に果たしてまいりました。さて、地方分権が進展し、二元代表制が強調される今、区議会が果たす役割も大変重要なものとなっております。区議会といたしましては、

- ① 議会改革に一層取り組んでいくこと
- ② 議会の権能・機能を強化すること
- ③ 民意を踏まえた効果的、効率的な議会運営に努め、区政のチェック機能を着実に果たすこと
- ④ 政策経営能力を高めること
- ⑤ 品格を高め信頼される議会を築くこと

の方向性を持ち、一つ一つ課題を解決しながらこれまで以上に議会としての使命を果たしてまいります。また、区民福祉向上のため、基本構想の実現に向けて、区長と緊密に連携し区政運営の一翼を担ってまいりたいと存じます。区民の皆様にとって、幸多き一年となりますことを祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。本年もどうぞよろしくお申し込み申し上げます。

平成26年
 第4回例会

一般会計補正予算(第4号)(施設再編整備計画に基づく特別養護老人ホームの整備に向けた経費等)を可決

第4回定例会は、11月18日に開会し12月8日までの21日間の会期で開催されました。

初日から20日にかけては、17名の議員が区政一般について質問を行いました。

21日の本会議では、区長から提案された条例案、補正予算案など議案計10件が上程され、提案説明を受けた後、関係する常任委員会に付託しました。一般会計補正予算(第3号)については、同日、

総務財政委員会で審査を行い、その後の本会議で委員長から審査経過が報告され、原案どおり可決しました。その後、契約金額増の専決処分についての報告を聴取しました。

25日～12月5日は、各常任・特別委員会が開か

れ、条例案などの議案審査等を行いました。11月27日には本会議(追加日程)が開催され、区長から追加提案された給与改定に関する5件の条例案が上程され、提案説明を受けた後、関係する常任委員会に付託しました。

最終日12月8日の本会議では、各常任委員会委員長から付託した議案の審査経過が報告され、14件の区長提出議案は、原案どおり可決しました。その後、議員から意見書の提出について1件の議案が提案・上程され、提案説明後、原案どおり可決し、第4回定例会を閉会しました(審議の結果は8面をご覧ください)。

平成27年第1回定例会は2月10日(火)から開会予定です。

議会の傍聴のご案内は、7面をご覧ください。

年頭のごあいさつ

◆年頭にあたり、議会各会派のあいさつをお届けします◆

杉並区議会 自由民主党

あけましておめでとうございます。区民の皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私たちが杉並区議会自由民主党は自由民主党所属12名で会派を構成、議会第一会派として活動しております。

さて、私たちは会派は世界に類を見ない急速な速度で進展をする少子高齢社会に対し、強い危機感を共有しながら、批評するだけ、反対するだけの無責任な立場とは明確に線を画し、「実現力」をキーワードに議会活動に邁進しております。また、12名の議員がそれぞれの得意分野を活かしながら、時代の要請に的確に対応した上で新しい発想と

11 認知症対策をはじめとした政策を立案し、日々区政に対し議会の審議等を通じながら、前向きな政策提言を行っております。そうした中、本年は特に次の項目を重点として活動してまいります。

- 1 地域を俯瞰的に捉えた区立施設再編整備の実施
- 2 木造住宅密集地域の解消
- 3 狭あい道路拡幅整備の促進
- 4 条例制定も視野に入れた空き家対策の促進
- 5 区民の防災意識の向上
- 6 プレミアム付なみすけ商品券事業の復活
- 7 農業振興とみどり施策拡充
- 8 地域コミュニティの再構築と活性化支援充実
- 9 小型バスをはじめとした区内交通網の更なる充実
- 10 東京一を目指した総合的な子育て支援の拡充促進
- 12 社会性を育むことに重点をおいた教育の推進
- 13 東京オリンピック・パラリンピックを見据えたスポーツ施策の促進
- 14 若者世代への支援の拡大
- 15 障害者総合支援法サービスの上乗せ拡充
- 16 各種選挙の投票率の向上
- 17 政務活動費の一層の透明化など議会改革の推進

「今も、そして将来にも責任ある区政」を標榜、活動する私たち杉並区議会自由民主党にぜひご期待ください。本年も何とぞよろしくお願ひ申し上げます。



富本 卓
(幹事長)



大泉 時男



斉藤 常男



小泉 やすお



吉田 あい



大熊 昌巳
(副幹事長)



はなし 俊郎



井口 かづ子



大和田 伸



今井 ひろし



浅井 くにお



脇坂 たつや

民主・社民クラブ

あけましておめでとうございます。区民の皆様には、お健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。日頃より、私ども会派に、ご支援ご理解を賜り、心より感謝申し上げます。

私たちが民主・社民クラブは民主党所属6名、社民党所属1名の議員で一致団結して、田中区政と連携しながら、日々の区民の方々から寄せられるご意見を基に、より良い区政への提言を続けております。昨年とは突然の衆議院の解散、総選挙という慌ただしい年末となりました。結果を真摯に受け止め、国政の動きを鑑みつつ、基礎自治体の議員として精進を続ける所存です。



増田 裕一
(副幹事長)



安斉 あきら



小川 宗次郎
(幹事長)



河津 利恵子



市来 とも子



山本 あけみ



山下 かずあき

無所属区民派

新年おめでとうございます。昨年は特養ホームや認可保育園の増設と児童館事業の拡充に取り組みました。福島の子ども保養は3回目を数え、原発立地自治体議員と結び原発再稼働阻止に尽力しました。今年も保育園と特養ホームの待機者解消をさらに進め、福祉第一の杉並をめざします。沖縄県知事選の勝利に学び、党派や立場の違いをこえて手を結び、原発推進と戦争に向かう流れを阻みます。「困ったときに一人にしません」のお約束は今後も貫きます。



新城 せつこ



けしば 誠一
(幹事長)

杉並同志会

あけましておめでとうございます。「次世代を担う子供たちの心を輝かせたい。そのためにもお手本である私達が自信と誇りを持ち毅然として輝きましょう」と伝え活動してまいりました。本年も引き続き皆様のご意見を真摯に伺い、他自治体のお手本となるような杉並区であるために行動致します。



松浦 芳子



藤本 なおや
(副幹事長)



岩田 いくま
(幹事長)

自民と区政クラブ

あけましておめでとうございます。我が会派は、議会人として、「政策と議決責任」を重んじる、という想いを同じくし、活動を続けております。区政経営の要諦は、時々の行政需要に適切に対応しながらも、将来世代に対して現役世代のツケを回すことなく、不断の行財政改革に取り組み、規律ある財政運営を行うことと考えております。本年も、ブレない信念のもと、未来への責任をしっかりと果たしてまいります。



杉並区議会

謹んで新年のお慶びを申し上げます。区民の皆様には日頃より区議会公明党にご支援ご厚情を賜り、厚く御礼申し上げますとともに、本年が素晴らしい一年でありますよう心からお祈り申し上げます。昨年、我が国はデフレ脱却に向けて足踏みする経済状況の中、台風や豪雨による水害、火山噴火、地震等、全国で自然災害が多発しました。

私も、災害から区民を守る危機管理体制の充実をはじめ、超高齢社会に対応する地域包括支援体制の構築、子育て支援策の拡充、行財政改革の推進等に全力で取り組んでまいりました。

また、昨年、結党50周年を迎えた公明党は、新たな飛躍の50年に向けて船出致しました。私どもの行動原理となっ

ている「大衆とともに」との立党精神は、これからもおられることなく携えていかなければならないと決意しております。そして、大切なことは、区民の皆様の「小さな声」を「聴く力」であると肝に銘じております。現場に足を運び、皆様のお声に真摯に耳を傾け、調査研究を重ね、「生活者の視点」で問題提起・政策提言を行い続けること、そして、時代の変化に俊敏に対応し、次の時代に伝えていくことが私どもの責務であると確信しております。

杉並のすばらしい未来へ、私どもは本年も、安心・安全、豊かで活力ある杉並区をめざして、会派8人が一致団結し、区政の重要な担い手として奔走し、政策実現に全力で挑戦してまいります。

本年も何とぞよろしくお願い申し上げます。



大槻 城一

渡辺 富士雄

島田 敏光

横山 えみ

山本 ひろこ

中村 康弘
(副幹事長)

北 明範

川原口 宏之
(幹事長)

日本共産党 杉並区議団

新年おめでとうございます。昨年は、突然の総選挙であわただしい年末となりました。民意に背く秘密保護法、集団的自衛権行使容認、消費税増税や社会保障の改悪、原発推進など、政治が暴走する一方で、それらを許さない区民の共同のたたかいが各分野で広がっています。とりわけ、戦後・被爆70年となる節目の年にあたり、核兵器のない世界の実現と「戦争する国づくり」を許さない運動が重要になっていきます。原水爆禁止署名運動発祥の地・杉並で、くらしと平和を守るため、私たちが力を尽くす決意です。

児童館の大幅削減やあんさんぶる荻窪と荻窪税務署等を財産交換する「区立施設再編整備計画」は、区民・利用者の意見を十分に聞かずトップダウンで決められたもので、多くの区民から怒りの声が上がっています。区財政はひっ迫している状況ではなく、区立施設を維持発展させる力は十分あります。区は、区民の声に耳を傾けるべきです。私たちが取り組んでいる「区民アンケート」には、「消費税増税や社会保険料の値上げで生活が苦しい」「これ以上の節約は無理」などの声が寄せられ、多くの区民の生活が一層困難になっている実態が明らかになっています。

杉並区が、区民のくらしを直視し、悪政の防波堤となつて、負担を軽減し、くらしと中小企業の営業、福祉、教育を優先する区政となることを求め、全力をつくします。



原田 あきら

くすやま 美紀
(幹事長)

鈴木 信男



上保 まさたけ

山田 耕平
(副幹事長)

富田 たく

金子けんたろう

区議会生活者 ネットワーク

昨年6月の区議会議員補欠選挙で議席をいただき、3人選派となって新年を迎えました。昨年は、高齢化率がピークになる2025年問題をはじめ、子宮頸がんワクチン、いじめ、水害対策、防災対策など暮らしに直結した課題に取り組む、都政に関連した水害、外環、教育の問題は都議と連携して活動しました。今

後、「総合計画実行計画」に基づき施設再編が具体化されますが、地域住民と対話型で進めるよう引き続き区に求めたいです。憲法の理念を生かし、「大事なことは市民が決める。地域のことは地域が決める」まちづくりを区民の皆さまと進めてまいります。



市橋 綾子
(幹事長)



つかはら 彩子



そね 文子

美しい杉並

昨年、区長が再選されました。大いに期待を寄せつつも、単なる追認機関に墮することなく、区民の立場から提言を行うことが当会派の責務です。保育所整備は閑静な住宅街との調和が必要ですし、生活過保護は看過できません。これからも保守の自分を貫きます。杉並やみなみと注ぐ祝ひ酒今年も皆々様に幸あれ



田中ゆうたろう

闘う改革の会

あけましておめでとうございます。私は、しがらみのない立場から議員定数削減、行財政改革をブレずに進めます。さらに、重要課題の中でも、自殺予防対策、障がい者の親なき後の支援、バリアフリー化、障がい者権利条約の理念を踏まえた取組など誰もが安心して暮らせるまちづくりの為に特に力を尽くします。



横田 政直

共に生きる杉並

新年を謹んでお慶びを申し上げます。ご家族皆様のご健康とご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

自然と共に、人々と共に、共に生きる世の中を、杉並から広げていきましょう。この世に生を受けた、かけがえない私たち一人一人の命が輝いて生きていける杉並を、目指していきましょう。



木梨 もりよし

緑の党

評判のよい、子育て応援券(5・1億円)、長寿応援ポイント制度(7・3千万円)ですが、30年後を見据えた施策、老人ホーム・家賃補助・こども貧困対策などに振り替えるべきです。新年だということに、夢のない話でごめんなさ。けれど、あれもこれもはもう無理だと、今年もはつきり提言していきます。



奥山 たえこ

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状等は禁止されています。



一般

質

問

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。
11月18日～20日に17名が質問しました。
その要旨をお知らせします。

地域における特別養護老人ホームの在り方について



大熊昌巳 (自民)

問 特養の必要性やその在り方について、区民への十分な周知を行っていると考えているのか。また、地域と遮断されたような造りの特養は、今後、地域では受け入れ難くなる。地域に開かれ、地域に密着した特養が必要。地域に開かれた整備を進めることが重要。そうした観点で、地元説明会等の機会を利用して、地域の方に必要性等を説明し、周知を図りながら整備を進める。

高齢者の住まいについて、健康づくり推進条例について



中村康弘 (公明)

問 高齢者の適切な住まいの確保について、学識経験者を交えて検討する会議体を設立する区への考えが示されたが、概要は。 **答** 来年度の設置を予定している。構成メンバー等は検討中。高齢になっても安心して暮らせる、地域包括ケアの土台となる。住まいの確保には区内の民間住宅の積極的な活用が大切だが、危険な老朽放置空き家へは、どのような対策を行っているか。 **答** 所有者に対して是正指導を行っている。今後の国の法律制定の動向を注視し、放置空き家への対策に取り組んでいく。

これ以上屋敷林・農地を減らせないと心に誓い活動している!!



浅井くにお (自民)

問 善福寺川上流部の水害対策は、私の具体的提案を含め、地域全体で雨水の流出時間をずらすシステム構築等、ゲリラ豪雨対策、特に10分間雨量対策が重要。 **答** 実行計画の改定で、今の対策に加え、雨水の流出時間をずらす対策などの充実を図る。 **問** 西武新宿線3駅周辺のまちづくり協議会は、踏切対策を重点課題とするまちづくり構想を提出している。隣接区と連携を密に都等へ事業の働き掛けを。 **答** 提案された構想を踏まえ、各駅周辺地区まちづくり方針を策定する。今後、その方針に基づき都等に働き掛けを進める。

世界に羽ばたく東京高円寺阿波おどり! 区の力強い支援を!



大和田 伸 (自民)

問 27年5月にはハリで「阿波おどり公演」が開催される。区として力強い後押しを! **答** 芸術の中心地パリで「高円寺阿波おどり」が披露されることは、高円寺や杉並を知ってもらう絶好の機会を捉えたい。 **問** 「高円寺阿波おどり」は、昭和32年に地元商店街青年部38名から始まった一握りのイベントであり、当時は観客も通行人だけ。しかし、「戦災で焼けたまちを復活させたい」という地元民の想いを経て、本場徳島との交流等を経て、見事に華を咲かせた。しかし、今日いまだに行政機関等の支援なしには開催さえも危ぶまれる現実もある。 **答** 今後も、自立的に安定・継続した運営の下に、情熱と感動をより多くの方に届けられるよう、区としても支援を続ける。

教育制度改革といじめ対策・認知症対策の現状と計画を問う



今井ひろし (自民)

問 27年4月からの教育委員会制度改革では、行政の政治的中性をどう確保するのか。 **答** 教育委員会が執行機関で、最終的執行権限があることは変わりない。中立性は確保される。 **問** 教育大綱の策定と関連する条例改正のスケジュールは。 **答** 大綱は、改正法の施行後、総合教育会議での協議を経て策定する。条例改正は、平成27年第1回区議会定例会で提案予定。 **問** 学校いじめ防止基本方針の策定期とインターネットの情報モラル教育についての見解は。 **答** 基本方針は、今年度中に策定するよう準備中。情報モラル教育は重要課題。子供たちを被害者にも加害者にもさせない取組を積極的に進める。

道路行政について



井口かづ子 (自民)

問 首都直下地震発生時、建物等の倒壊で区道がふさがれることが想定される。震災時に区道の通行を確保するための対応は。 **答** 都の緊急輸送道路から震災の緊急輸送道路を、緊急道路障害物除去路線とした。震災後、直ちにこの路線の障害物を除去し、救援・救護活動のための経路を確保する。 **問** 商店街の装飾灯は、区が設置する街路灯に代わる公共性の高い、また、商店街活性化に必要な施設。区には装飾灯の電気料金等の一部助成制度があるが、電気料金の値上げで負担が大きくなっている。装飾灯の役割に配慮して助成制度の見直しを。 **答** 現在、他区の補助状況等について調査を行うとともに、商店街の実態等を踏まえた助成制度の見直しを検討している。



問 宮前に整備する特養は、防災拠点型の整備を求める地域の声を反映させる形で事業者選定が行われた。この新たな試みの整備に期待。この特養の特徴は。 **答** 災害時のオープンスペースや防災備蓄倉庫等を整備する。 **問** 宮前のように、地域住民の声が反映された特養整備が現実のものとなっている。南伊豆町での整備進捗状況も含め、今後の特養整備に対する意気込みは。 **答** 今年度静岡岡県・南伊豆町と協定締結し、来年度事業者を公募したい。区立施設再編整備で生み出された用地や公有地の活用等区内整備を基本に、南伊豆町での整備を踏まえた都内の区域外整備等多様な手法を進める。



問 健康づくり推進条例が制定された。健康寿命の延伸が重要課題だが、今後の施策展開は。 **答** 連携と協働を基本理念として施策を展開する。全庁的に健康に対する共通認識を持ち、健康データや医療情報の積極的な活用など、新たな発想を進める。 **問** 歯の健康と認知症の関係が研究されている。80歳歯科検診が有益と思うが、区の所見は。 **答** 都の動向も注視し、80歳になってもよく噛め、健康な生活を送れるよう区も支援していく。



問 緑地保全の必要性を次世代の子供へ伝えるため緑地保全教育プログラムをつくり広めるべき。 **答** 農業体験等子供の参加機会をつくり理解が深まるよう努める。

問 緑地保全の必要性を次世代の子供へ伝えるため緑地保全教育プログラムをつくり広めるべき。 **答** 農業体験等子供の参加機会をつくり理解が深まるよう努める。



問 来年度の介護保険制度改正に伴い、認知症施策を介護保険事業計画に反映していくと考えるが、取組の方向性は。 **答** 認知症初期集中支援チームを設置。また、地域包括支援センターに配置する(仮称)地域包括ケア推進員に認知症地域支援推進員の機能を持たせる。更に認知症ケアパスを策定し、認知症高齢者やその家族を支える。



問 地籍調査が始まって3年が経過した。進捗状況は。また、今後、改定される実行計画でどう取り組んでいくのか。 **答** 進捗率は今年度末で約36%となり、23区で2位。改定した実行計画では、阿佐谷・高円寺地域での調査を予定。大規模災害時の復旧・復興に役立てる。

和泉地域の木密対策を、児童館事業の拡充に区職員の力を活かせ



新城せつこ (無区)

問 新泉小跡地の体育館や校庭、専修大学附属高校への避難計画等専大との協議内容と、住民代表の参加はどのようにするのか。
答 連携を強化する新たな取組の具体化も進め、防災機能の強化を図る。地元との話し合いの機会を設ける方向で検討する。



高齢者・若者のひとり暮らし世帯への対策を急げ



増田裕一 (民社)

問 地域のたすけあいネットワーク(地域の手)の実施状況と課題認識は。また、個別避難支援プランの作成促進への取組は。
答 9月現在約8700名が登録。うち約6600名は個別避難支援情報の登録が完了。登録勧奨と情報共有化が課題。ケアマネジャーや障害者支援相談員もプラン作成できるよう準備中。
問 ふれあい収集の実施状況は。また、区の評価と課題認識は。
答 ごみ出し困難な一人暮らしの65歳以上高齢者や障害者などの世帯等約1400世帯が登録。見守りに貢献。利用増加が見込まれるため施策充実を目指す。



区道無電柱化、国内外の交流、震災救済所支援策について



山本あけみ (民社)

問 区道電柱数は。また、2020年に向け、都ではセンター・コア・エリアでの整備が進むが、今後、区道の無電柱化をどのように進めていくのか。
答 電柱と電話柱で設置数は約3万3000本。必要性の高い事業だが自治体の負担が重く、なかなか進められない。国には、無電柱化推進の方針・目標を示し、電力会社の責務を明確にするとともに負担軽減に向け補助制度の拡充等を行ってほしい。
問 青少年健全育成のため、友好都市締結都市にかかわらず、海外交流を進めるには。
答 中学生親善野球大会を契機に、台湾との交流も深めている。また、杉並区交流協会と連携し、交流機会促進に取り組んでいる。



包摂的な若者就労支援を！子どもの食物アレルギー対策を！



市来とも子 (民社)

問 就労支援センターでは、区内企業とのマッチングがほとんど行われておらず、区内の企業情報や求人情報の蓄積が行われていない。企業開拓・求人開拓を行い、情報の収集整理が必要。
答 区内企業情報を収集し、効果的な求人情報を提供する企業開拓実施に向け、検討している。
問 若者支援は、医療・福祉・生活保護との連携はもろろん、総合的・包摂的な支援を模索することが必要。
答 来年度、就労支援センターと生活困窮者等自立相談支援窓口をあんさんぶる荻窪内に設置し、就労支援と福祉分野が一体となった若者支援を展開する。



高齢者の就労支援と児童クラブ待機児解消・育成時間延長を



安斉あきら (民社)

問 区内の産業・商業団体に対し、高齢者就労支援の連携と協力を含め、働く意欲のある高齢者が区内での就労に繋がるための新たな取組を検討すべき。
答 高齢者のための就労支援相談窓口を、区内企業の方に知ってもらえるよう、周知する。
問 高齢者の生きがいづくりや労働力確保の観点からも、就労支援を充実させ、生涯現役の社会環境を推進し、高齢者就労率ナンバワンの自治体を目指せ。
答 生涯現役社会を目指し、高齢者が望む働き方と求人情報が一致できるよう支援策を進める。



ひとり親家庭支援、男性職員の育児参加、低額老人ホーム



奥山たえこ (緑党)

問 母子家庭の6割が貧困。日本勤労世帯収入の半分以下しか所得がない。支援策情報提供が不十分。学校等を含めもつと連携して施策の案内を。ホームページの工夫も必要だ。ひとり親家庭の抱える課題、家賃補助の検討をしてはどうか。
答 児童生徒がいる全保護者にむけて、リーフレットを作成配布している。ホームページ上の工夫を含め、周知等の充実に向けていく。今後の支援策のあり方は、来年度の実態調査結果等を踏まえて、考えて行く。
問 区の男性職員の育児休業利用が皆無。取りづらい状況があるのか。
答 制度の周知と意識啓発を図るとともに、管理職を中心に、職員が制度を利用しやすい雰囲気醸成できるよう取組を充実させていく。



次世代育成と地域に関する諸問題について



田中ゆうたろう (美杉)

問 保育園を増やす際、騒音対策等近隣住民への説明はどのようになされているのか。
答 民間事業者が整備する場合も、事業者と連携し、近隣住民への説明・意見聴取等を行い、地域の理解と協力を得て施設を整備・運営できるように努めている。
問 施設再編整備に際し児童館機能をどう温存するのか。児童館機能が失われるのではとの保護者の不安払拭はどう行うのか。
答 身近な小学校等で機能を継承し、充実・発展させていく考えである。区の考え方は説明会等で丁寧に説明し、関係者の理解を深められたと認識している。



和泉地域の木密対策を、児童館事業の拡充に区職員の力を活かせ



新城せつこ (無区)

問 新泉小跡地の体育館や校庭、専修大学附属高校への避難計画等専大との協議内容と、住民代表の参加はどのようにするのか。
答 連携を強化する新たな取組の具体化も進め、防災機能の強化を図る。地元との話し合いの機会を設ける方向で検討する。



高齢者・若者のひとり暮らし世帯への対策を急げ



増田裕一 (民社)

問 地域のたすけあいネットワーク(地域の手)の実施状況と課題認識は。また、個別避難支援プランの作成促進への取組は。
答 9月現在約8700名が登録。うち約6600名は個別避難支援情報の登録が完了。登録勧奨と情報共有化が課題。ケアマネジャーや障害者支援相談員もプラン作成できるよう準備中。
問 ふれあい収集の実施状況は。また、区の評価と課題認識は。
答 ごみ出し困難な一人暮らしの65歳以上高齢者や障害者などの世帯等約1400世帯が登録。見守りに貢献。利用増加が見込まれるため施策充実を目指す。



区道無電柱化、国内外の交流、震災救済所支援策について



山本あけみ (民社)

問 区道電柱数は。また、2020年に向け、都ではセンター・コア・エリアでの整備が進むが、今後、区道の無電柱化をどのように進めていくのか。
答 電柱と電話柱で設置数は約3万3000本。必要性の高い事業だが自治体の負担が重く、なかなか進められない。国には、無電柱化推進の方針・目標を示し、電力会社の責務を明確にするとともに負担軽減に向け補助制度の拡充等を行ってほしい。
問 青少年健全育成のため、友好都市締結都市にかかわらず、海外交流を進めるには。
答 中学生親善野球大会を契機に、台湾との交流も深めている。また、杉並区交流協会と連携し、交流機会促進に取り組んでいる。



包摂的な若者就労支援を！子どもの食物アレルギー対策を！



市来とも子 (民社)

問 就労支援センターでは、区内企業とのマッチングがほとんど行われておらず、区内の企業情報や求人情報の蓄積が行われていない。企業開拓・求人開拓を行い、情報の収集整理が必要。
答 区内企業情報を収集し、効果的な求人情報を提供する企業開拓実施に向け、検討している。
問 若者支援は、医療・福祉・生活保護との連携はもろろん、総合的・包摂的な支援を模索することが必要。
答 来年度、就労支援センターと生活困窮者等自立相談支援窓口をあんさんぶる荻窪内に設置し、就労支援と福祉分野が一体となった若者支援を展開する。



高齢者の就労支援と児童クラブ待機児解消・育成時間延長を



安斉あきら (民社)

問 区内の産業・商業団体に対し、高齢者就労支援の連携と協力を含め、働く意欲のある高齢者が区内での就労に繋がるための新たな取組を検討すべき。
答 高齢者のための就労支援相談窓口を、区内企業の方に知ってもらえるよう、周知する。
問 高齢者の生きがいづくりや労働力確保の観点からも、就労支援を充実させ、生涯現役の社会環境を推進し、高齢者就労率ナンバワンの自治体を目指せ。
答 生涯現役社会を目指し、高齢者が望む働き方と求人情報が一致できるよう支援策を進める。



ひとり親家庭支援、男性職員の育児参加、低額老人ホーム



奥山たえこ (緑党)

問 母子家庭の6割が貧困。日本勤労世帯収入の半分以下しか所得がない。支援策情報提供が不十分。学校等を含めもつと連携して施策の案内を。ホームページの工夫も必要だ。ひとり親家庭の抱える課題、家賃補助の検討をしてはどうか。
答 児童生徒がいる全保護者にむけて、リーフレットを作成配布している。ホームページ上の工夫を含め、周知等の充実に向けていく。今後の支援策のあり方は、来年度の実態調査結果等を踏まえて、考えて行く。
問 区の男性職員の育児休業利用が皆無。取りづらい状況があるのか。
答 制度の周知と意識啓発を図るとともに、管理職を中心に、職員が制度を利用しやすい雰囲気醸成できるような取組を充実させていく。



次世代育成と地域に関する諸問題について



田中ゆうたろう (美杉)

問 保育園を増やす際、騒音対策等近隣住民への説明はどのようになされているのか。
答 民間事業者が整備する場合も、事業者と連携し、近隣住民への説明・意見聴取等を行い、地域の理解と協力を得て施設を整備・運営できるように努めている。
問 施設再編整備に際し児童館機能をどう温存するのか。児童館機能が失われるのではとの保護者の不安払拭はどう行うのか。
答 身近な小学校等で機能を継承し、充実・発展させていく考えである。区の考え方は説明会等で丁寧に説明し、関係者の理解を深められたと認識している。



問 新泉小跡地への特養建設や防災強化について、消防車の通行や歩行安全な道路幅の確保を。和泉地域の木密対策は。
答 道路整備は重要。今後検討。木密地域解消の研究を進める。
問 施設再編整備計画で、児童館が果たす機能や役割を継承し、充実・発展させるため、様々なケースを想定し実施方法の検証・検討を行い進める事が重要。その際現場職員の知識を活かせ。
答 放課後等居場所事業を段階的に一層拡充しモデル実施する。現場職員の力を活かし取り組む。
問 外環地上部街路の話し合いの会が延期されないよう求めよ。都は杉並の話し合いの会を重視しているのではないか。
答 定期的開催できるように都と調整する。都は、話し合いの会を継続し、広く意見を聞きながら計画を進めるとしている。

問 いきいきクラブの区政での位置付けは。また、クラブ数・会員数の減少傾向が続いているが、活性化に向けた支援は。
答 高齢者福祉推進のため設立された重要な団体。活動を継続・発展できるように支援を行う。
問 区内大学と連携し、防災講演会や訓練実施等、防災対策としての関係性構築を強化すべき。
答 震災救済所の補助・代替施設役割を担ってもらおう等して活動への参加促進を働き掛ける。

問 地域により防災力に差があると感じているが、各震災救済所の活動実態に即した支援は。
答 必要性を認識し全ての震災救済所が避難所や救援活動の拠点としての機能を発揮できる様、さらにきめ細やかに支援を行う。
問 新校舎建設時に震災救済所の設置運営を想定した設計は。
答 教育委員会と連携し機能が発揮できる校舎整備に取り組む。

問 食物アレルギーのある児童が増加する中、事故を防ぐ取組と事故発生時に適切に対応できる体制づくりを力を入れてほしい。
答 昨年度区のアレルギー対応マニュアルを全面見直した。また、次年度に向け、専門医師との専用ホットラインの開設を新たな実行計画に盛り込んだ。
問 男女共同参画を推進するた
答 条例制定は、将来の課題。

問 児童クラブの待機児童解消に向けた整備は。また、効率的で質の高いサービスを継続するために保護者に対するニーズ調査等を定期的に行うことも重要。
答 保育園の延長時間との整合性を図り、保護者が迎えに来ることを条件に午後7時30分までの延長を検討すべき。
問 今後、児童クラブの小学校内への移設・整備を進めていく
答 中で、育成スペースの確保・充実を図り、需要増に対応し、運営時間を含めた保護者の意見・要望を聞いていきたい。

問 費用が少ない都市型軽費老人ホームの整備がなかなか進まない。事業者の確保は。
答 設置戸数が20戸以下に限定されることなど運営上の課題もある。区有地の活用や他の介護施設の併設、助成制度のあり方等について今後も検討。

問 神戸市長田区女児殺害事件等を踏まえ、杉十小の蚕糸の森公園隣接部等への防犯カメラの設置等安全対策を望む。また公園周辺の防犯対策も伺う。
答 学校施設への防犯カメラ設置や学校警備、地域の学校支援者による来校者確認、公園管理事務所での公園利用指導等により、児童の安全を確保している。
問 中学生小笠原自然体験交流で、中国漁船による日本領海侵犯とサンゴ密漁をどう教えるか。
答 学習指導要領に基づき指導。

消費税10%への増税は先送りではなく中止を国に求めるべき



上保まさたけ (共産)

問 消費税10%が区民のくらしに大きな被害をもたらすことは明白。「増税分は、全額社会保険に」と言いながら、実際はたったの1割しか回されていない。税金は応能負担が原則。大企業や富裕層ほど負担が軽い逆立ちした税制になっている実態を改めるべき。消費税増税は先送りではなくキッパリと中止を国に求めるべきだが区の見解は。

答 消費税増税は必要な施策である。議論の動向を注視する。



高まる保育需要への緊急対策を、介護保険制度改悪の中止を



山田耕平 (共産)

問 保育課窓口の混雑は過酷。2時間半待ちも。窓口の大幅増設と職員配置拡充、保護者負担軽減の取り組みを。保育需要予測は困難で待機児童が発生。27年に備えて緊急対策の準備を。

答 電話対応要員を確保、混雑緩和を図る。認可保育所定員弾力化等、あらゆる対応を行う。



高齢者も障がい者も誰もが安心して暮らせるまちづくり!



横田政直 (みん)

問 議会側の身を切る改革として議員定数削減をすべきだが、地方公務員法第24条第1項の規定がありながら、課長職に部長級の給与を支給する理由は。

答 重大課題を抱える課長ポストには、課題解決能力に長けた部長級管理職を配置している。あんさんぶる荻窪の財産交換は、今後も説明会を開くべき。節目節目で区議会をはじめ区民に説明し意見を聞き進める。

問 科学館について議会による条例廃止の議決もなく廃止に向け作業を進めて良いのか、丁寧な審議及び周知を求める。

答 様々な機会を捉えて、ご理解いただけるよう丁寧に進める。

問 この間、特定秘密の指定を検証する監視機関は、首相が任命するものであり、その検証が事実上秘密を指定した首相自身によって行われる仕組みになる問題が明らかになっている。特定秘密保護法は廃止をするよう国に求めるべきだが区の見解は。

答 当該法律は、いまだ多くの国民が十分な理解をしていない。国は疑問や不安を払拭するよう努力すべきと考える。

問 高齢期を迎える障害者への対策は急務。介護保険制度移行による問題も。介護保険事業計画に障害者対応の位置付けを。

答 障害特性を踏まえた支援のため各分野連携の相談支援体制を充実し、計画に位置付ける。

問 要支援者サービスは総合事業に移行される。現行のサービス総量と水準、単価の維持を。27年、特養ホーム入所者は要介護3以上に限定される。入所要件引き下げをやめよ。利用料2割負担は深刻。負担軽減措置拡充を。介護保険料の引き下げを。

答 サービス水準を確保し事業を進める。国の額を基に単価を定める。必要性の高い方が特養へ優先入所できるように努める。利用料負担軽減は国の検討を注視。保険料は区民の負担感等を考慮し基金繰入等の検討を行う。



問 高齢者や障がい者に対する災害時支援は。福祉救援所の指定について目標数及び進め方は。

答 震災救援所を中心に体制作りを推進。民間の協力を求め、29年度には25カ所まで福祉救援所の指定を拡充していく計画。

児童・高齢者虐待防止の取組と新泉・永福南小の跡地活用



横山えみ (公明)

問 児童虐待は低年齢児を中心に発生しているため産後直後の支援が重要。区の対応は。

答 区の組織が核としての役割を果たすことが重要。来年度からは、議員から提案いただいた新たな産後ケア事業を実施し、継続的に支援が必要な妊婦、母子を対象に出産前から産後5カ月程度までの支援を拡大していく。

問 DVの心理的虐待は被害の対処と同時に防止が重要。学生が学習機会を持つ事が鍵対策は。

答 DV・ストーカー被害防止連続講座を行っている。今後は、高校生やその保護者にデートDV等に関する普及啓発等を行う。

問 高齢者虐待は約7割が認知症の症状がある早期発見の取組は。

答 虐待する方も被害者である。介護する家族が孤立しないよう見守り早期発見に努めていく。

問 新泉小学校跡地は防災拠点としての対応ができるのか。

答 歩道状況地も設け、機能を維持・確保し、震災救援所運営連絡会の活動も継続していく。

問 永福南小学校跡地活用は。

答 音楽・スポーツ等の活動拠点としての要望を受け、校舎の一部を改修し永福体育館に転用。

問 児童・高齢者虐待防止の取組と新泉・永福南小の跡地活用

お知らせ

◆会派名称変更 (平成26年12月1日付)
「みんなの党杉並」から「闘う改革の会」へ名称変更しました。

◆政務活動費収支報告書を区議会ホームページに掲載します
区議会では、政務活動費の適正な運用について、「政務活動費調査検討委員会」を組織し、不断の見直し・検討を進めています。このたび、平成25年度分の収支報告書を区議会ホームページに掲載することとしましたので、お知らせします。

現在、掲載に向け、ホームページの修正等準備を行っており、掲載は、3月を予定しています。

全員協議会を開催しました

全員協議会は、区政に関する重要事項または議会の運営に関し、区議会議員全員で協議または調整を行う会議です。

26年11月21日、杉並区総合計画(10年プラン)・杉並区実行計画(3年プログラム)の改定について全員協議会を開催しました。

◆掲載記事の訂正とお詫び

平成26年11月11日発行の区議会だよりNO.223号8面「議案等の概要と審議結果」の表中に誤りがありました。お詫びするとともに訂正いたします。

(訂正内容)
「地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分した損害賠償額の決定の報告及び承認について」は、杉並区議会自由民主党(自民)の議員が1名欠席して

アメリカ合衆国の核性能実験に抗議し、要請書を送付

区議会は、アメリカ合衆国がニューメキシコ州サンディア国立研究所で実施した核性能実験に抗議し、今後一切の核実験の停止を求める要請書を26年11月7日付でアメリカ大使館を通じてアメリカ合衆国大統領宛に送付しました。

手話言語法制定を求める意見書を提出

区議会は、手話が音声言語と対等な言語であることとを広く国民に広め、聴覚に障害のある子供が手話を身に付け、手話で学び、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」の制定を求める意見書を、26年12月8日付で政府に対し提出しました。

※要請書・意見書の全文は、区議会ホームページの「意見書・決議等」でご覧になれます。

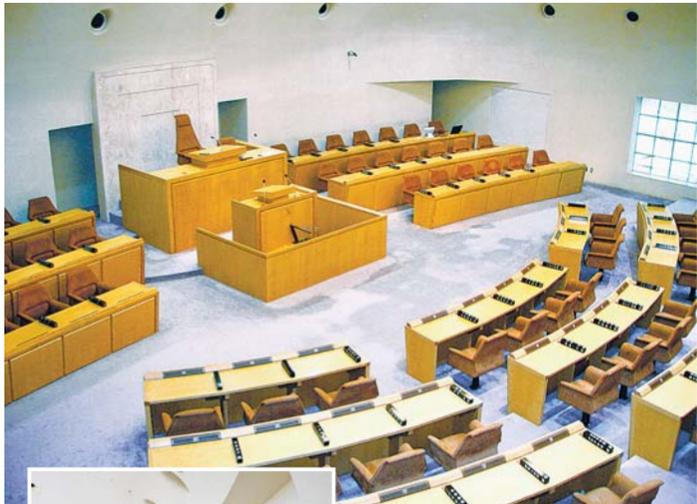
陳情の審査結果II

【不採択】
◆拉致事件に関する陳情 (26陳情第23号)

議会	日誌
7日	議会運営委員会理事
10日	議会運営委員会
18日	議会運営委員会理事
19日	本会議
20日	本会議
21日	議会運営委員会理事
25日	総務財政委員会
26日	区民生活委員会
27日	保健福祉委員会
28日	議会運営委員会
1日	総務財政委員会
2日	災害対策特別委員会
3日	道路交通対策特別委員会
4日	文化芸術・スポーツ
5日	議会改革特別委員会
8日	議会運営委員会
12日	保健福祉委員会(視察)
16日	災害対策特別委員会(視察)

区議会の傍聴にお越しく下さい

傍聴は、議会活動を知るもっとも身近な方法です。本会議や委員会は、定員の範囲内でどなたでも傍聴できます。車椅子での傍聴や手話通訳による傍聴もできます。また、一時保育も受け付けています。ぜひ、お越しく下さい。



▲議場（区役所中棟4階）



◀議場傍聴席（区役所中棟5階）

【申し込み方法】

会議の当日、区役所中棟3階の区議会事務局でお申し込みください。受け付けは開会時間の15分前からです。

手話通訳をご希望の方は、傍聴希望日の4日前までにお申し込みください。また、一時保育を希望する方は、傍聴希望日の7日前までにお申し込みください（おおむね6カ月から就学前のお子さんが対象。費用は無料。申込順で1日の定員は4名）。

議会の日程等は、区議会事務局へお問い合わせください。

【傍聴席の定員】

議場=59人／第1委員会室=12人／第2委員会室=15人／第3・4委員会室=22人

—— インターネット中継 ——

本会議の様子を、区議会ホームページで「生中継」しています。

また、会議終了後おおむね24時間後に「録画中継」をご覧になれます。おおむね一週間後には、内容や質問者ごとにご覧になれます（下記参照）。

◇区議会ホームページ <http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/>

本会議、予算・決算特別委員会の録画映像をご覧ください

区議会ホームページで、本会議、予算・決算特別委員会の録画映像を配信しています。

会議終了から、おおむね24時間後に速報版として、おおむね1週間後には内容や質問者ごとに詳細版としてご覧になれます。ホームページトップ画面の左下「本会議録画中継」「委員会録画中継」をクリックしてください。

文字を大きくするには

すぎなみぎかい
杉並区議会
Suginami city assembly

区議会トップ
議会のしおり
区議会議員紹介
あなたと区議会
区議会例規集
会議日程・議長活動
議長交際費
区議会のうごき
代表・一般質問
議案一覧
委員会報告
意見書・決議等
直接請求

本会議録画中継
委員会録画中継

杉並区議会だより
区議会年報
リンク集
キッズコーナー
すぎなみぎかい
バスツアー

杉並区議会からのお知らせ

- ☆第4回定例会（本会議）（12月8日）を、区議会ホームページでライブ（生）中継し、
- 区議会議員紹介のページを更新しました。（12月3日）。
- ◎11月18日～21日・27日の本会議の様態（詳細版）をご覧になれます。
- ◎第4回定例会の議案一覧を更新しました。（11月27日）
- ◎第4回定例会の議案一覧を更新しました。（11月26日）
- ☆11月27日（木曜日）の会議日程を変更しました。
- ≡日程はこちらから≡

区議会トップ
議会のしおり
区議会議員紹介
あなたと区議会
区議会例規集
会議日程・議長活動
議長交際費
区議会のうごき
本会議ライブ中継
本会議録画中継
委員会録画中継
会議の様態
杉並区議会だより
区議会年報
リンク集
キッズコーナー
すぎなみぎかい

本会議録画中継

杉並区議会本会議の映像を録画放映でご覧になります。
杉並区議会の録画映像を録画しています。本会議の公式記録は本会議録画をご覧ください。
録画中継映像を閲覧するためには、「Windows Media Player」が必要です。
インターネットのホームセンターからダウンロードし、インストールしてご覧ください。

●録画放映（速報版） 会議の終了から概ね一週間後にご覧いただけます。
□ たいま速報版はございません。

●録画放映 会議の終了から概ね一週間後にご覧いただけます。
日付をクリックすると、各日の詳細ページから映像をご覧いただけます。

●平成26年 第4回定例会
□ 11月18日（本会議）特別委員会委員報告（一般質問）
□ 11月19日（一般質問） □ 11月20日（一般質問）
□ 11月21日（議案上程 委員会付託） □ 11月27日（議案上程 委員会付託）

●平成26年 第3回定例会
□ 11月10日（本議の本議）特別委員会委員報告 所定説明、代表質問
□ 11月11日（一般質問） □ 11月12日（一般質問）
□ 11月13日（議案上程 委員会付託） □ 11月14日（議案上程 議決）

●平成26年 予算特別委員会
□ 10月19日（本議の本議）
□ 10月20日
□ 10月21日
□ 10月22日
□ 10月23日（意見書提出）
□ 10月24日

クリック!

クリック!

本紙を録音した「声の区議会だより」、または点字版「区議会だより」をご希望の方に郵送でお届けしています。区内在住の視覚障害1、2級の方と特に希望される方が対象ですので、お知り合いの方にお知らせください（お申し込みは区議会事務局へ）。

議案等の概要と審議結果

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 平成26年12月8日議決（※は11月21日議決）

件名	概要	自民	公明	民社	共産	生ネ	無区	自ク	同志	闘う	共生	美杉	緑党	結果
杉並区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	育児参加休暇の制度化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区行政財産使用料条例の一部を改正する条例	高井戸区民事務所宮前会議室等の目的外使用の廃止	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
杉並区職員の特殊勤務手当に関する条例及び杉並区女性福祉資金貸付条例の一部を改正する条例	母子及び寡婦福祉法の一部改正に伴う所要の規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区難病患者福祉手当条例の一部を改正する条例	難病の患者に対する医療等に関する法律の制定に伴う難病患者福祉手当の支給の対象となる疾病の改正等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	育児参加休暇の制度化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区立上高井戸保育園建替事業の委託契約の締結について	契約金額：4億3,929万6千円 契約の相手方：東京都都市整備局長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区学校教育職員の主任教諭選考に係る事務の委託について	県費負担教職員と選考水準の均衡を図るため、杉並区学校教育職員の主任教諭選考に係る事務を東京都に委託	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
区長提出議案等	財産の無償貸付けについて	貸付の土地・建物：群馬県吾妻郡東吾妻町大字原町字岩櫃山4399番外4筆／「コニファーいわびつ本館建物」ほか 貸付の条件：引き続き旅館営業すること。区民を優先的に利用させること。 貸付の相手方：株式会社フォレスト 貸付の期間：平成27年4月1日から3年間												
	平成26年度杉並区一般会計補正予算（第3号）※	12月14日の衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の実施に要する経費1億8,253万4千円の補正												
	平成26年度杉並区一般会計補正予算（第4号）	施設再編整備計画に基づく特別養護老人ホームの整備に向けた経費や保育室整備のための改修費など、新たな事情の変化や緊急性等の観点から、14事業及び財源更正1事業7億9,190万5千円の補正のほか、債務負担行為の補正												
	杉並区長等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	区長等の給料月額及び期末手当の改定												
	杉並区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	職員の給与の改定等												
	杉並区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	退職手当の調整額に係るポイント等の改定												
	杉並区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	幼稚園教育職員の給与の改定等												
	杉並区学校教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	学校教育職員の給与の改定等												
	地方自治法第180条第1項の規定により指定された契約金額の増減の専決処分をしたことの報告について※	平成25年第3回区議会定例会で契約金額増額の報告をした「仮称杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校及び併設1施設建設建築工事」の契約金額をさらに4,064万1,480円増額し、25億8,930万6,480円とした。												
	議員提出議案	手話言語法制定を求める意見書	政府に対し、「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書を提出（6面をご覧ください）											

議員別の表決結果は、区議会ホームページの「議案一覧」でご覧になれます。

《会派名・構成人数》（平成26年12月8日現在）

自民／杉並区議会自由民主党（12人）、公明／杉並区議会公明党（8人）、民社／民主・社民クラブ（7人）、共産／日本共産党杉並区議団（7人）、生ネ／区議会生活者ネットワーク（3人）、無区／無所属区民派（2人）、自ク／自民と区政クラブ（2人）、同志／杉並同志会（1人）、闘う／闘う改革の会（1人）、共生／共に生きる杉並（1人）、美杉／美しい杉並（1人）、緑党／緑の党（1人）

平成26年 定例会・委員会等の開会状況をお知らせします

◇定例会の開会状況

本会議名	期間	会期	本会議開会日数
第1回定例会	2月13日～3月18日	34日間	6日
第2回定例会	5月27日～6月13日	18日間	4日
第3回定例会	9月9日～10月14日	36日間	6日
第4回定例会	11月18日～12月8日	21日間	6日
合計		109日間	22日

◇常任委員会・議会運営委員会・特別委員会の開会状況

委員会名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
常任委員会	総務財政委員会		2			2	1	1	1		1	1	9
	区民生活委員会		1			2	1		1		1		6
	保健福祉委員会		1	1		2	1		1		1		7
	都市環境委員会		1			2	1		1		1		6
	文教委員会		1			2	1		1		1		6
議会運営委員会		2	2		2	2		1	1	3	1	14	
計	0	8	2	1	2	12	5	1	6	1	8	2	48

◇その他の委員会の開会状況

委員会名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
その他	議会運営委員会理事会	1	1	3	2	2	1	1	1	2	2	5	21
	全員協議会	1							1		1		3
計	2	1	3	2	2	1	1	1	3	2	6	0	24

特別委員会	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
災害対策特別委員会		1			1	2			1			1	6
道路交通対策特別委員会		1				2			1			1	5
文化芸術・スポーツに関する特別委員会		1				2			1			1	5
議会改革特別委員会		1				2			1			1	5
予算特別委員会		1	10										11
決算特別委員会									1	8			9
計	0	5	10	0	1	8	0	0	5	8	0	4	41